**令和6年度第3回理事会議事録　令和6年11月26日（火）19：30～20：00　WEB開催**

当日参加　17名及び委任状16名による計33名の参加となり、全理事59名の過半数（30名）以上により理事会が成立した。

**1.会員名簿作成について**

2011年以降、会員名簿が作成されていないため、会員相互の交流の利便性を上げるためにも、会員から名簿作成が希望されており、他大学の名簿発行状況を資料として、星川会長より説明があった。「業種的に医師の職場はインターネットなどで概ね調査可能であるため、個人情報として守秘されていると言い難いところであり、勤務先は基本的に開示でも問題ないと考えられるが、全ての掲載項目の開示について個人の希望を確認する。

形式としては、冊子体は作成の度に印刷費や輸送費で費用がかかるという問題がある。時代的にはWEBでセキュリティを万全にした上で、パスワードで入って閲覧、検索するという形が望ましいと思う。そのため業者に発注する必要があり、今後、費用やシステムの詳細を比較検討して調べていきたい。」

WEBでの会員名簿作成について、理事会の賛同があった。

**2.令和6年度（2024年度）第2回国外留学助成金の審査・決定**

西内学術局長に代わり星川会長から、今回、本城晴紀先生（平成23年卒）1件の申請があり、1次審査上、全て基準を満たしていることが説明された。これを受けて理事会による2次審査が行われ、1件の限度額である250,000円が交付されることが決定した。

**3.学生部会の設立について**

星川会長から学生部会設立の意図について、「組織は、若い人材の参画がないと先細りしてしまう。学生の時から同窓会の存在を知り、時には何らかの形で同窓会の活動に参画してもらうよう、学生部会という形で何名かの学生さんを任命したい。学生に関わる事案の際には執行部会や理事会にも参加したり、あるいは支部会への参加などの形で今後進めていきたい。学生部会に任命する者は、学祭の実行委員長などの役職経験のある学生が引き継いでいく形を考えている。」と説明があり、満場一致で理事会として賛同となる。

**4.病院見学サポーターについて**

星川会長から、「ポリクリの5、6年生が研修先に考える病院に卒業生が勤務している場合、学生の来訪に際し、サポーターとして、学生の対応をしてくださるような方を調査したいと考えている。まだ具体的な内容は検討段階であるが、全国各地におられる同窓の先生方が、何かあった時には助けていただくこともできるということを学生たちに周知できればと思う」と構想を話された。

これに対し、卒後臨床研修センター長の安田先生から、「センターは卒業生に残ってほしいと向き合っているので、3年目以降とかキャリアを積んだ時に帰ってきやすいような環境を作ると言う意味でこういうシステムにおおまかには賛成する、具体的な運用方法については今後相談していきたい」との意見があった。

大西議長から、「各病院は様々な大学出身の先生方の集まりであり、偏らず均等に対応しているので、よほど運用をきちんとしなければ対応しにくいかもしれないと思う。」との意見があり、星川会長が、いろいろな懸念があると思うので少し時間をかけて進めていきたいと応えた。

理事会として賛同された。

**5.新棟への事務局移転について**

同窓会事務局は、来年4月に中庭に完成する新棟の一階に移転する。今後は、ホームカミングディを始め、卒業生が来学する際には、同窓会事務局にも立ち寄るというケースが増えてくると思われる。建物や部屋が新しくなるこの機会に、事務局も、今後はもう少し来た方がくつろげるようなスペースを作るための整備をしていきたい。それに伴い椅子や机、パソコン機器などの費用が発生することについて許可いただけたらと星川会長から説明があり、理事会の賛同があった。

**6.事務局事務員の増員について**

同窓会事務局は、長年、事務員1名の状態が続き、それをサポートして継続性を持たせるための増員が必要であったが、なかなか実現しないまま現在に至っている。増員に伴い一時的に予算が増えることが見込まれるが、継続性を考えた上では必要だと思われる。事務員を増やす方向で議論してほしいと安田事務局長から説明があり、理事会の賛同があった。

**7.その他**

1. **医学部開講50周年記念特定基金（医学部再開発）寄附について**

令和6年度第1回理事会で決定した寄附金1000万円が讃樹會として10月に滞りなく寄附されたことについて星川会長から報告された。来年4月30日に予定されている新棟の竣工式典の際に、同窓会に対して医学部より何らかの形でお礼の言葉がある予定である。

1. **支部会への学生参加への支援について**

11/24開催の岡山讃樹會へ初めて学生の参加があり、学生に対して懇親会援助費を支援する件について直前に執行部会のメール審議で了解された。今後も、学生が支部会へ参加する場合も考えられ、学生を対象に加えた懇親会援助規定の改訂案を次回の執行部会・理事会で審議するよう星川会長から要望があり、理事会で賛同された。尚、次回の審議までに開催される支部会に学生の参加があった場合は、岡山讃樹會と同様に援助をすることとなった。

1. **林英生先生から名誉会員のご辞退について**

令和6年度第2回理事会（令和6年8月6日（火）WEB開催）において、名誉会員板野俊文先生のご推薦があり、香川医科大学微生物学初代教授林英生先生の讃樹會名誉会員就任が承認されたが、その後、9月に入り、林先生御自身から、ご病気を患っているため、名誉会員をご辞退されたいとの手紙が届いたことが星川会長から報告され、理事会としてご辞退を承知させていただくこととなった。